

西日本最古の石剣出土！

大崎町 てんじんだん 天神段遺跡

この石剣は、棒状の石を磨いてつくったもので、「まつりの道具」と推定されています。今年6月に縄文時代前期の地層（約5000年前）から発見された西日本最古の石剣となります。

東日本の同時期の石剣に形や大きさがよく似ています。

今後、詳しく分析することによって、縄文時代の南九州のまつりのようすや縄文人の心を知る手がかりになると考えられています。



発掘のようす



発見時のようす



四方向からみた石剣

今回発見されました「石剣」は、9月8日（土）から、鹿児島県上野原縄文の森展示館で展示公開します。